

CONTENTS

第26回全国大会を終えて	1
2012年度総会議事録	2
第9回優秀実践賞	4
第26回大会に参加して	5
ラウンドテーブル報告	6
都市計画学会との連携シンポジウム	7
第3回韓日地域福祉サミット	7
新入会員紹介／Information	8

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/> E-mail chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp

発行人：牧里 每治 編集人：小松 理佐子



第26回日本地域福祉学会全国大会を終えて

熊本大会実行委員会 事務局長 和田 要
(熊本学園大学)

熊本の地で初めての日本地域福祉学会の開催は、地域福祉の願いと歴史を受け継ぎ、新たな地平をきり拓きたいとの思いで実行委員会を結成しました。

大会総合テーマ「新たなコミュニティの創造と地域福祉の課題—受苦からの再生」のもとで、全国各地から770名を超える参加者により、自由研究87本、ポスター8本の発表がなされました。会員諸氏による日々の研究や実践の成果を学ぶことができました。さらに、韓国からは韓国地域社会福祉学会からの参加も得ることができました。

基調講演では、原田正純先生から急遽花田正宣氏（熊本学園大学水俣学研究センター長）より「水俣学のとびら—水俣病と福島原発事故」と題する講演をいただきました。「故原田正純先生」の最期の公的な記録として要旨集に掲載できたことは、私たち一人ひとりが、「当事者と向き合うこと・地域とともにあること」をメッセージとして受けとめています。

今回の全国大会では、東日本大震災からの1年余の復興への取り組みや震災復興支援シンポジウムでは、我が国全体が抱える課題や復興の道筋など多くの学びと新たな研究の方向性も提示されました。全国大会後の、この夏には熊本・大分県では千年に一度の大雨による災害が発生し、地域における災害支援や生活再建の取り組みがなされています。

熊本シンポジウムでは、地域とともに福祉を実現するための営為を紹介していただき、歴史的な事柄が今なお今日の課題を解決するための示唆を得ることができました。プレ企画では、水俣市社会福祉協議会による「地域リビングの取り組みの交流」で多くの参加をいただきました。

地元実行委員会として、準備に心をつくしてきましたが、行き届かない点があったことをお詫び申し上げます。